【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【公表番号】特表2018-509128(P2018-509128A)
【公表日】平成30年3月29日(2018.3.29)
【年通号数】公開・登録公報2018-012
【出願番号】特願2017-546143(P2017-546143)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｊ　50/12　(2016.01)
Ｈ０２Ｊ　50/40　(2016.01)
Ｈ０２Ｊ　50/80　(2016.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｊ　50/12
Ｈ０２Ｊ　50/40
Ｈ０２Ｊ　50/80

【手続補正書】
【提出日】令和1年9月2日(2019.9.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
誘導電力移送（ＩＰＴ）フィールドを生成するよう構成された少なくともひとつの電力送信コイルと、
生成された場合の前記ＩＰＴフィールドによって占められるスペース内のまたはそのスペースに隣接した物体を検出するよう構成された物体検出システムと、を備え、
前記物体検出システムは、受信体に関連付けられた識別要素に基づいて該受信体を検出するよう構成される誘導電力送信器。
【請求項２】
前記物体検出システムが受信体を検出すると前記コイルにエネルギを与えるよう構成される請求項１に記載の送信器。
【請求項３】
前記識別要素は磁石である請求項１に記載の送信器。
【請求項４】
前記磁石は前記受信体の受信コイルに対して配置された永久磁石である請求項３に記載の送信器。
【請求項５】
前記磁石はＤＣ電圧によりエネルギを与えられた前記受信体の受信コイルである請求項３に記載の送信器。
【請求項６】
前記物体検出システムはひとつ以上の磁性スイッチを含む請求項３に記載の送信器。
【請求項７】
前記ひとつ以上の磁性スイッチのうちの少なくともひとつは、ホール効果スイッチ、リード（Reed）スイッチまたは三次元ホール効果センサである請求項６に記載の送信器。
【請求項８】
前記識別要素は符号化された反射性表面を有し、前記物体検出器は反射光パターンを測

定するよう構成された光検出器を含む請求項１に記載の送信器。
【請求項９】
複数の電力送信コイルを備え、
前記物体検出システムの少なくともひとつの物体検出器は各電力送信コイルの周りに配置され、
前記送信器は、前記受信体に関連付けられた前記識別要素との相互作用を通じた前記対応する物体検出器の活性化に基づいて、前記対応するコイルにエネルギを与えるよう構成される請求項１に記載の送信器。
【請求項１０】
複数の物体検出器は対応する電力送信コイルの間に設けられ、
前記送信器は、前記受信体に関連付けられた前記識別要素との相互作用を通じた前記対応する検出器の活性化に基づいて、前記コイルのうちのひとつ以上にエネルギを与えるよう構成される請求項９に記載の送信器。
【請求項１１】
あるコイルに対応する全ての前記物体検出器は並列に接続される請求項１０に記載の送信器。
【請求項１２】
前記送信器のコントローラの制御の下、受信体がそれに関連付けられた前記物体検出器によって検出されない限り、前記電力送信コイルにエネルギが与えられることはない請求項９に記載の送信器。
【請求項１３】
前記物体検出システムが受信体を検出し、通信が前記コイルのエネルギ簒奪に成功しない場合、前記受信器と通信するよう構成される請求項１に記載の送信器。
【請求項１４】
前記物体検出システムはさらに、さらなるＯＤ検出戦略に基づいて非受信体を区別するよう構成される請求項１に記載の送信器。
【請求項１５】
前記さらなるＯＤ検出戦略は、回路パラメータと、複数の所定の非受信体のそれぞれについての所定のプロファイルと、の間の相関のレベルを決定することを含む請求項１４に記載の送信器。
【請求項１６】
前記さらなるＯＤ検出戦略は、受信体と同時に、前記スペース内のまたは前記スペースに隣接した非受信体を検出するよう構成される請求項１５に記載の送信器。
【請求項１７】
前記さらなる検出戦略は、物体の検出に対する前記物体検出システムの応答が参照応答と、しきい値よりも小さい相関を有するか否かを決定することを含む請求項１５に記載の送信器。